

このまちの100年

「浦和」

埼玉県の行政・経済の中核として発展してきた浦和。関東大震災を境に住宅地としても注目を集めると、東京からの人口流入も増加し、商業・文化の面でも大きく発展しました。



大正10年

浦和宿から大宮宿に至る中山道沿いには、松並木が続いていた



昭和前期

浦和駅は市内で最も歴史のある駅。写真は省線電車(現在の京浜東北線)開通時



昭和前期

明治28年に開設された旧制浦和中学校



昭和前期

芸術家が住む場所としても注目され、鹿島台と別所沼畔は、アトリエ村とも呼ばれた



昭和前期

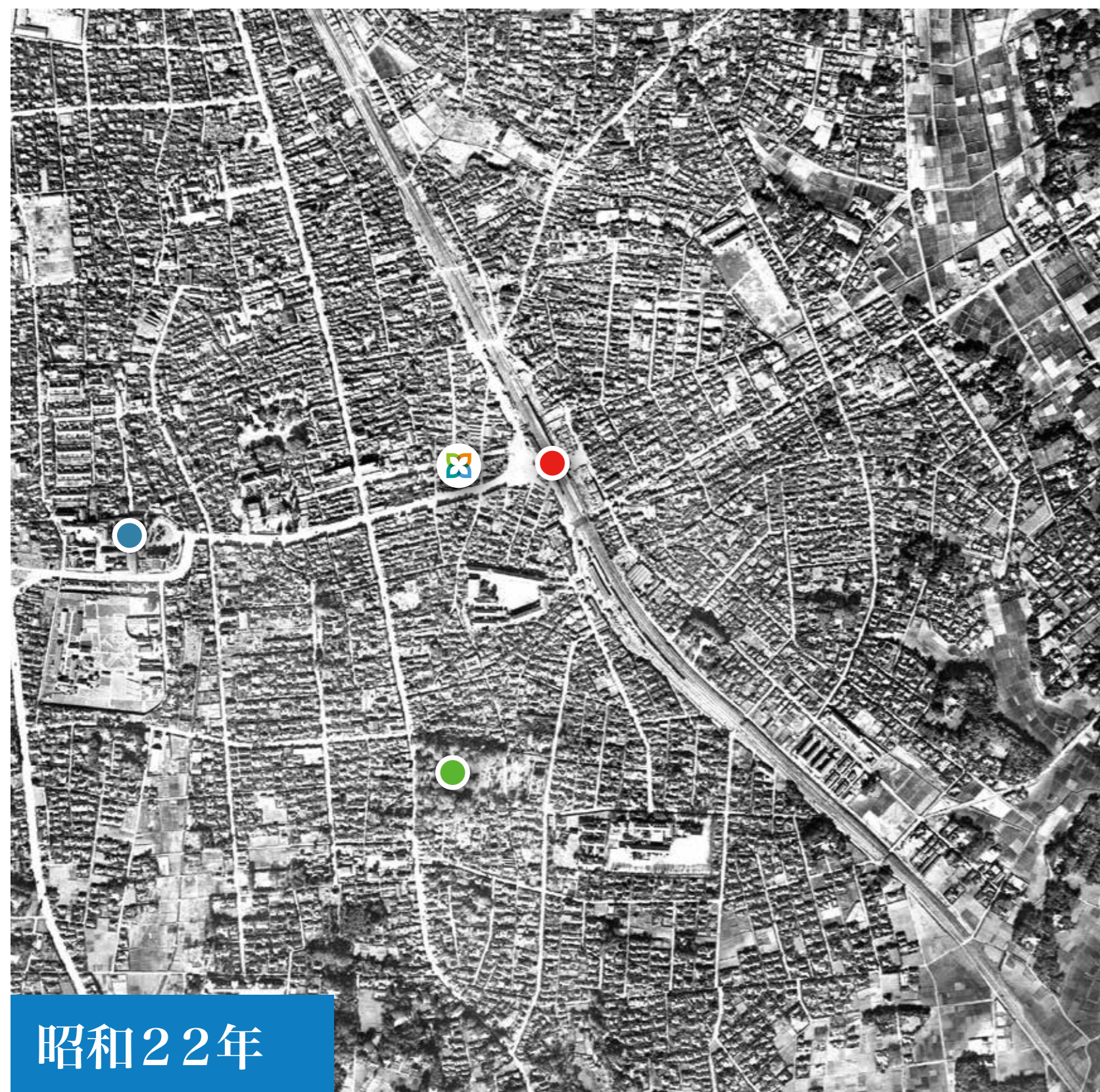
にぎわう中山道と停車場道の丁字路付近の様子



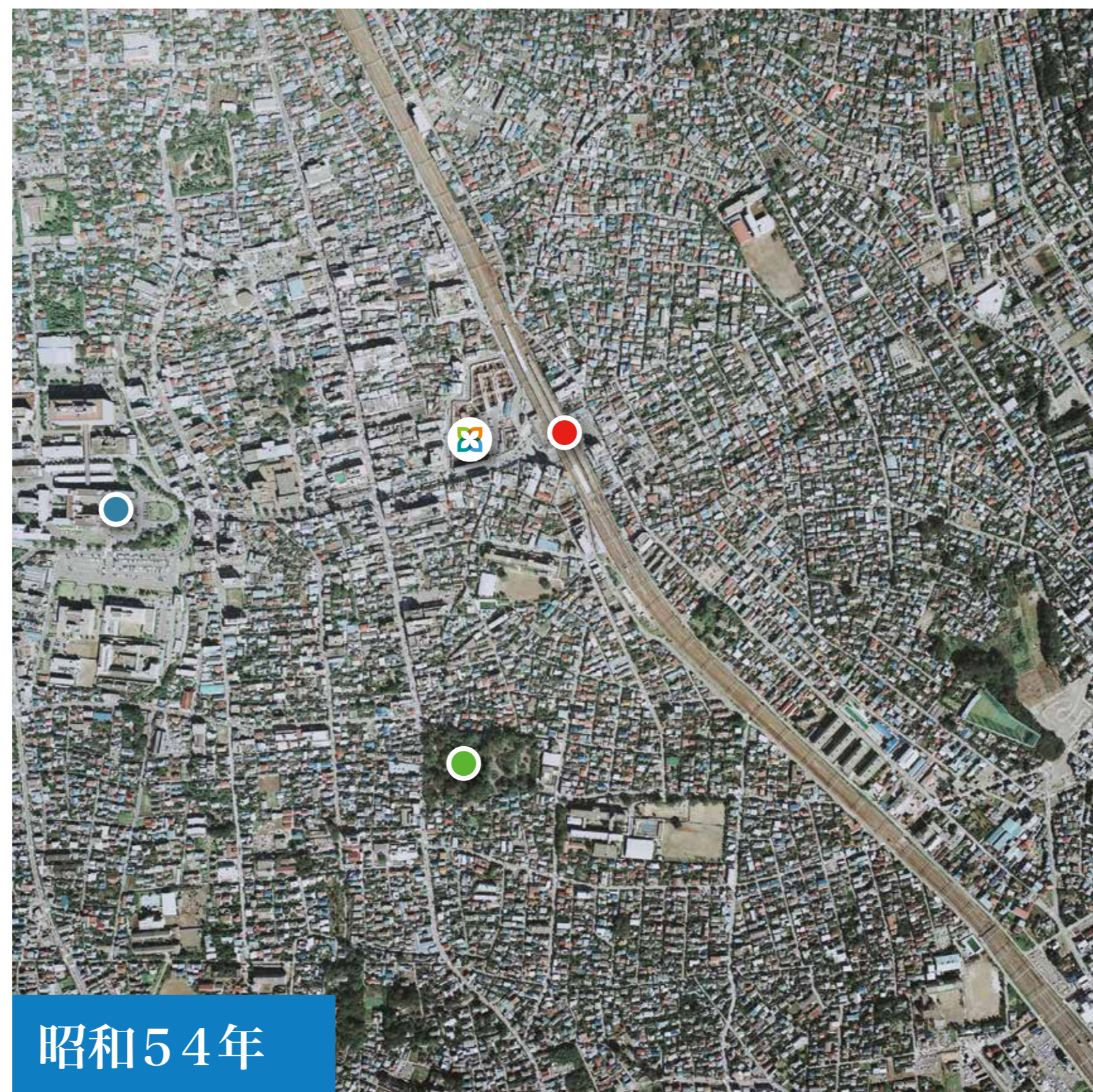
昭和中期

アーチが架けられ多くの人でにぎわう、浦和銀座

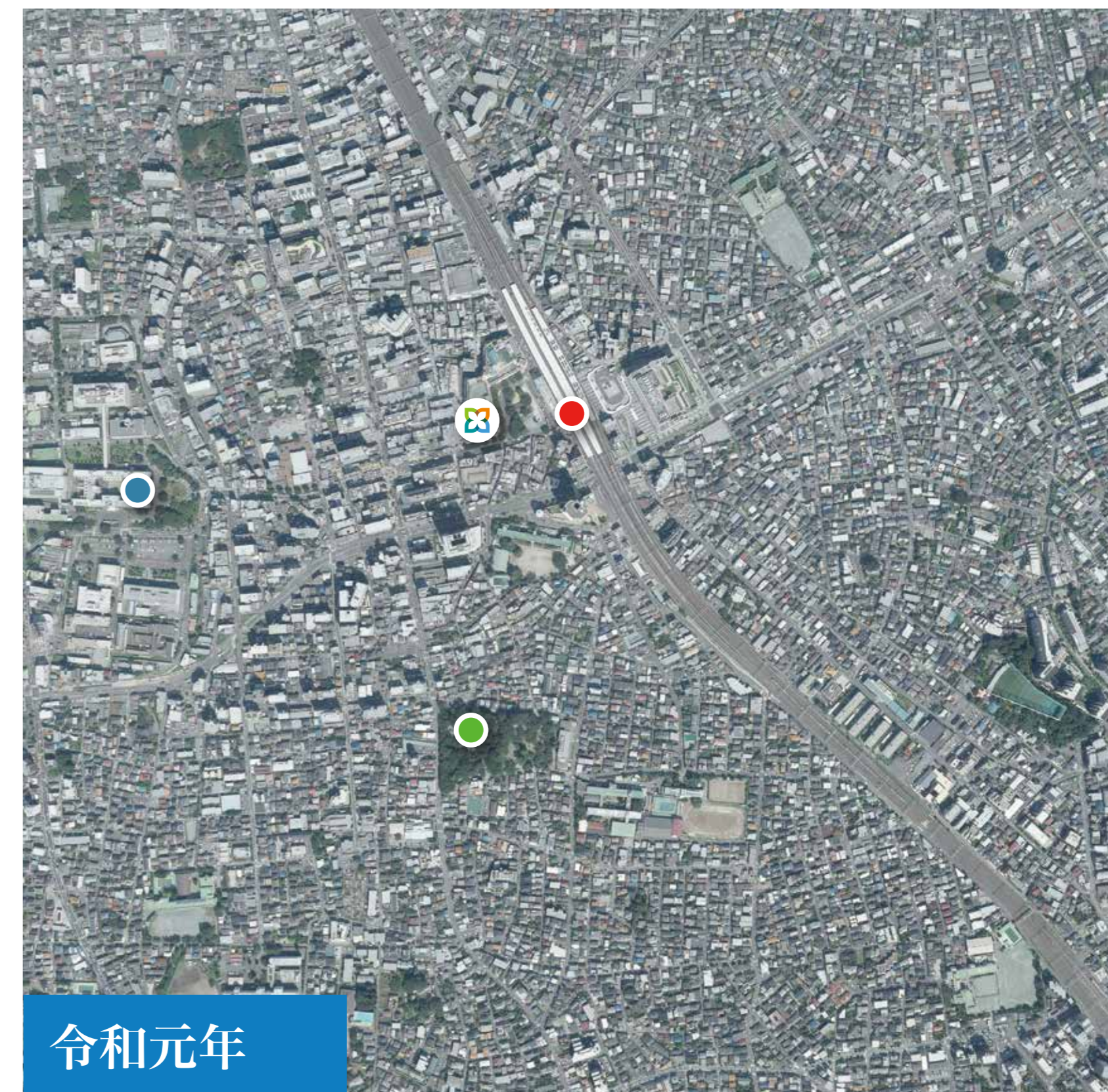
上空からみた浦和エリア



昭和22年



昭和54年



令和元年

: 現在地
 : 埼玉県庁 : 調神社 : 浦和駅

出典：国土地理院「地図・空中写真閲覧サービス」(一部加工)

編集：株式会社コロモチ